

(令5志理) 模擬講義レポート

(問題部分 1～4 ページ)

注意事項

- (1) 使用できるもの: 黒鉛筆・シャープペンシル・プラスチック製の消しゴム・小型鉛筆削り・時計等, 「受験者心得」で指示したもの, 模擬講義の資料。
- (2) 受験番号欄は各答案用紙の解答欄と評点欄の2か所, 氏名欄は解答欄に1か所あります。受験番号は5けたの数字を枠内に1字ずつ明確にして記入ください。
- (3) 受験番号及び氏名を指示されたところ以外に記入した場合や受験番号の数字が判別できない場合, 採点の対象になりません。
- (4) 解答は, 黒鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙の所定の欄に明確に記入してください。
- (5) 答案用紙の裏面には何もして記入はいけません。
- (6) 答案用紙に指示された以外のことを記入しても採点の対象になりません。

問1（配点率 20%）模擬講義を参考に下記の問いに答えなさい。

下図は模擬講義スライド番号2の「チラシ・広告の例」である。図中の①～⑤の部分で「信頼できる(妥当性が高い)」、「内容が不確か(妥当性が低い)」に分けなさい。(解答欄の【信頼できる・内容が不確か】のどちらかを○で囲む)

「信頼できる」ものには、なぜ信頼できるのか、その理由を解答欄に書きなさい。「不確かである」と思うものには、その問題点や何を調べれば信頼性を確認できるかを解答欄に書きなさい。

著作権の保護の観点から、図は掲載していません

問2(配点率 30%) 模擬講義において示した「科学と疑似科学」について、下記の問い((1)～(3))に答えなさい。

(1) 模擬講義では、科学と疑似科学の違いについて説明をしました。講義をもとに、科学にはどのような特質(特徴や性質)があるか、100字以内で答えなさい。

(2) 「血液型性格判断が疑似科学である」と判断する理由を、(1)で答えた内容をもとに200字以内で書きなさい。

(3) 疑似科学には多くの危険性があります。一方で疑似科学が身の回りで広まっている(容認されている)現状があります。疑似科学が容認されている要因について、具体例を挙げて200字以内であなたの考えを書きなさい。

問3（配点率 20%） 模擬講義を参考に下記の問いに答えなさい。

模擬講義スライド番号17の表(下表:『世界を変える100の技術』)と模擬講義の内容から, 2030 年に向けた技術の発展について, どのような傾向があり, 今後どのような展望が考えられるか300字以内で説明しなさい。

著作権の保護の観点から、図は掲載していません

問4（配点率 30%）模擬講義を参考に、フェルミ推定を用いて「日本にテレビが何台あるか？」を推定しなさい。（なお、ステップ5の現実性検証は除くものとする）

答案用紙には、ステップごとに解答欄を設けているので、下記の注意事項を参考に解答を記入しなさい。
（注意事項）

- (1) ステップ1は、階層構造図を含めて答えなさい。
- (2) ステップ2は、計算式を答えなさい。
- (3) ステップ3は、リスト(表)を含めて答えなさい。
- (4) ステップ4は、それぞれの要素に数を代入し、計算の途中経過も含めて答えなさい。

（問題は以上です）